

令和
6年度

多治見市PTA連合会 広報誌

No.40

多治見

～PTA えがおまもる～



変革を進め子どもたちにできることを考える

ささき ちひろ

多治見市PTA連合会 会長 佐々木千裕（小泉中学校）

日頃よりPTA活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

近年、核家族化、共働き世帯の増加により、従来のPTA運営方法では維持ができなくなっています。PTAが任意加入であることの説明と手続きを丁寧に行う学校も増え、全国的にもPTA組織自体が変革の時期を迎えています。変革には先ず、状況を皆で共有する必要がある、いわ

ゆる見える化が欠かせないと考えます。

そこで多治見市PTA連合会としては以下のよう3つの(見える化)に取り組みます。

そしてこれらの取り組みを通じ、子どもたちに「この町に生まれて良かった!」そう言ってもらえるための一端になれるよう、精一杯努めさせていただきます。どうぞ1年間よろしくお願い致します。

1：広報活動の見える化

「PTAってなにをしているの?」そう思っている方が多くいらっしゃると思います。

紙媒体だけでなく、インターネットの活用や関係機関と連携し、PTA活動の見える化を進めます。

2：問題の見える化

各学校の問題を話し合う事で多治見市の学校全体としての問題を洗い出し、共有することで問題の見える化を行います。

そのためにも、役員同士が積極的に交流できる環境を整えます。

3：やるべき事の見える化

PTAの運営役員は毎年変わります。しかしせっかく1年かけて築いてきたものを引き継げなかった場合、停滞どころが後退となりかねません。やるべき事は迅速に行動に移して参りますが1年はあつという間です。引き継ぎ事項を見える化し、未来に繋げる仕組みを作っていきます。

誰にとっても楽しいPTA活動を

こうだ たまみ

多治見市小中学校校長会 会長 國府田珠実（陶都中学校長）

「PTAって、そもそも何の略?」

2年前、前任の本部役員会で「持続可能なPTA活動」について相談をしている時に話題になりました。あらためて調べると「Parent（保護者）Teacher（先生）Association（つながり）」の頭文字をとったもので、日本PTA全国協議会のHPでは、「保護者と教職員で構成された社会教育団体」と記されています。

近年、全国的にも「持続可能なPTA活動」について話題となっています。「子どものために」と一生懸命な方だけが忙しい思いをするのではなく、みんなができる範囲で、できる時に活躍して、子どもたちの笑顔を引き出すために

は、どのように運営していったらよいのか、アイデアを出し合って実践して下さっていると思います。教職員だけではなかなか手が届かない場面でも、PTAのみなさんが助けていただいていることを、学校職員は皆、感じています。

今こそ、「子どものために」という思いで集った人が、先生とか保護者とか垣根なくお互いに「つながっている」実感を味わえば、本来のPTA活動のねらいである「楽しさ」を味わうことができると思います。「持続可能なPTA活動」について、情報交流しながら、お互いのよさを学び合いたいです。

基本方針

すべての子供達が笑顔で元気に暮らせる多治見市にする

活動内容

- ・ 学校、保護者、地域、行政とを繋ぎ連帯できるよう考え行動します
- ・ 単位PTA間の情報共有をします
- ・ 多くの保護者に興味関心を持ってもらえるよう活動します
- ・ 時代に沿ったPTAの在り方を模索します
- ・ 「令和新家族の約束七か条」の推進をします

「令和新家族の約束七か条」

- 1 あいさつや家庭学習の習慣が身に付くよう努めましょう。
- 2 多治見市子どもの権利条例をふまえ、子どもの命を守りましょう。
- 3 「早ね・早おき・朝ごはん、家族そろって晩ごはん」を心がけ、子どもが個食や孤食にならないようにしましょう。
- 4 園・学校行事、地域行事、PTA行事や子育てセミナー、講演会などへ積極的に参加して、広く知識を身に付け、つながりを増やしましょう。
- 5 子どもが発するSOSに早く気づき、対応が困難なことはすばやく相談機関に連絡しましょう。
- 6 スマートフォンなどの利用上のルールをつくったり、様々な犯罪や事故に巻き込まれないよう家族で話し合ったりしましょう。
- 7 家族みんなが楽しめる日をつくりましょう。

家庭教育委員会 活動テーマ

チーム家庭教育委員会 ～人も自分も大切にできる子供を育てよう～

家庭教育委員会 委員長 **わたなべ かよこ**
渡邊 加余子（池田小学校）

- ・ コロナ禍
- ・ SNSや動画、オンラインゲームの浸透
- ・ AIやIoTの進展

により、生活スタイルは多様化し、社会は急激に複雑になりました。子供たちを取り巻く環境は目まぐるしく変化していると感じています。

しかし、確実にいえることは、どのような社会にあっても、『子どもの成長は、学校教育と家庭教育の両輪があってこそ成り立つ』ということです。

何より大切なのは、学校の先生方と私たち保護者が常に連絡を取り合って、

『チームとして子どもの成長を見守ること』であると確信しています。

そこで今年度は、

**『チーム家庭教育委員会
～人も自分も大切にできる子供を育てよう～』**

を活動テーマといたしました。

家庭と学校がチームとなって子どもたちの成長を支え見守り「僕（私）はこんなに大切にされているんだ」と感じてもらえて、大きな自信にしてもらいたいと願っています。

家庭教育委員会 開催予定

- 8/21(水) 第2回 家庭教育委員会
- 11/27(水) 第3回 家庭教育委員会
- 2/26(水) 第4回 家庭教育委員会 / 活動好例紹介・引き継ぎ

5/27 第1回 家庭教育委員会 / ⑨ 令和6年度 東濃地区家庭教育学級リーダー研修会

5月27日、とうしん学びの丘エールにて、各学校の家庭教育委員長さん、教頭先生にご参加頂き開催しました。司会進行をつとめた恵那県事務所振興防災課様から、現在の家庭教育を取り巻く状況や、県が取り組んでいる家庭教育の施策（家庭教育学級）などが紹介され、多くの保護者が子育てに悩みや不安を抱えている現状を目の当たりにしました。

岐阜県では平成26年12月に「岐阜県家庭教育支援条例」が公布・施行されました。その前文には、

家庭は、教育の原点であり、全ての教育の出発点である
とあります。しかし、少子化の進行、共働きやひとり親家庭の増加、
地域のつながりの希薄化など、社会が変化している中、各家庭が改め
て家庭教育に対する責任を自覚し、自主的に取り組むと共に、地域・
社会全体で家庭教育を支えていくことが必要と説明を頂きました。

※ 家庭教育学級 ※

親自身が学び成長するとともに、学びを通して子育ての仲間を作り、そのネットワークを広げることを目指しています。

サロン型交流会では5つのグループに分かれ、令和6年度の各学校の取り組みについて報告を行いました。

昨年、コロナが2類から5類に引き下げられたことを受け、基本的な感染症対策を行いながら、多くの活動が再開されました。PTAのあるべき姿を模索しながら、変革へチャレンジしています。従来の活動の見直しや、新たな取り組みの実施計画など、活発な意見交換を行いました。

いのちの教育は、市内全中学校が「いのちの教育支援事業補助金制度」を活用し、家庭ではなかなか話しづらい「性」や「生」をテーマとした講演会等を企画しているようです。親と子が共通のテーマを一緒に考えることで、親子間のコミュニケーション強化にも効果的な学びの場として、その動きは小学校へも広がっています。

サロン型交流会の前に「自分をリフレーミング～大人だって、自己肯定感(^^)」をテーマにワークショップを開催しました。リフレーミングを使うことで、自身が短所と思っていた部分を、とてもポジティブに捉えることができました。「親だって人だもの、もっと自分自身を褒めてあげよう」という気持ちになれたのでは？

※ リフレーミング ※

欠点やネガティブなことを、いつもとは違った枠組みや視点で、長所やポジティブなものとして捉える見方のこと。

例えば「暗い」という性格をリフレーミングすると「物静か」「落ち着きがある」「冷静」という見方ができます。このように自分の思い込みを見直すことで、人間関係や物事の捉え方をよりよいものに変えられます。



岐阜県

- ・家庭教育支援条例
- ・家庭教育学級の取組紹介
- ・家庭教育動画教材
- ・いのちの教育全体像



の詳細は各サイトにてご紹介しています。
ぜひご覧ください。



お知らせ

多治見中学校教諭が 令和5年度日本PTA全国協議会 三行詩コンクールで、文部科学大臣賞を受賞

受賞
作品

「散歩中 会う人皆に『こんにちはー!!』 いいぞ息子よ その調子!!」

多治見中学校

ひろかわ たかひろ

広川 貴大 先生

日本PTA全国協議会主催の令和5年度「楽しい子育て全国キャンペーン」～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～三行詩募集において、全国より小学生の部・中学生の部・一般の部合計103,038点の作品の応募の中から、文部科学大臣賞を受賞されました。

6月26日、高木多治見市長を表敬訪問し、受賞報告を行いました。当日は、終始和やかな雰囲気での会話が弾んでいました。

広川先生から、「この三行にどんな思いを込めたいか家族で考えた時間、そして、名誉な賞をいただけたこと、息子や我が家にとって宝物となりました」とコメントを頂きました。



社団法人日本PTA全国協議会 令和5年度
「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩
選考結果のサイトへリンクします



「たのしい子育て三行詩」を募集

多治見市PTA連合会では、日本PTA全国協議会主催の「たのしい子育て全国キャンペーン」三行詩コンクールを積極的に推奨しています。今年度も、家族の会話やコミュニケーション

から生まれる絆や家庭のルール、子供達の基本的な生活習慣づくりなど、また、令和新家族の約束7か条をテーマとする三行詩を募集します。

【三行詩とは】

「三行程度の短い詩」という意味で、必ずしも三行である必要はありません

【応募方法】

応募用紙は学校を通じてお配りしています。また右のQRコードからもダウンロードすることができます。

ご不明点は下記までお問合せ下さい。

・多治見市教育委員会教育推進課

(市PTA連合会事務局)

☎23-5904 内線2327)

【応募締切】

令和6年8月28日(金)まで

【応募先】

児童、生徒が在籍する学校のPTA(育友会)

【応募対象】

小学生、中学生、保護者、教職員等



お知らせ

いのちの教育支援事業補助金制度について

多治見市PTA連合会では令和5年度より、「いのちの教育支援事業補助金制度」を創設し、昨年度は市内13校にて活用されました。本制度は「ぎふ いのちの教育」に掲げられる「健康教育」、「いじめ・不登校の防止教育」、「自殺防止教育」、「心の教育」を

市内公立小中学校での実施を促進するための授業・講演会等実施にかかる経費を補助するものです。

令和6年度も引き続き実施致しますので、ぜひご活用ください。

今後の予定

7/24(木) 会長会（第2回 理事会 / 第2回 ブロック会議）

8/3(土) 市長・教育長と語る会 / 令和6年度 多治見市PTA連合会講演会

- 講師 うちだりょう 内田良氏
- テーマ 知ることから始めよう、学校のリスク
～保護者と教員の協働に向けて～



令和6年度 多治見市PTA連合会 役員紹介

会長	佐々木 千裕	小泉中学校
副会長	末廣 貴裕	多治見中学校
	田宮 紅美	南ヶ丘中学校
	渡邊 加余子	池田小学校【家庭教育委員長】
書記	水田 康弘	共栄小学校【広報委員長】
	吉本 百合子	北陵中学校【家庭教育副委員長】
会計	河口 昌子	笠原小学校【家庭教育副委員長】
	宮口 哲也	南姫小学校【家庭教育副委員長】
顧問	鈴木 稔朗	事務局
監事	加藤 吉登	笠原中学校
	國府田 珠実	陶都中学校長 【多治見市小中学校校長会長】
	林 弘	小泉中学校長 【多治見市PTA連合会会長在籍校学校長】



リンク先のご紹介

岐阜県が取り組んでいるさまざまな施策の詳細をご確認できます。ぜひ、各学校や単位PTA（育友会）、各家庭でご活用ください。

家庭教育支援条例

岐阜県家庭教育支援条例



家庭教育学級の実践紹介

岐阜県家庭教育学級の実践



家庭教育動画教材

岐阜県家庭教育動画



いのちの教育全体像

ぎふ いのちの教育全体像

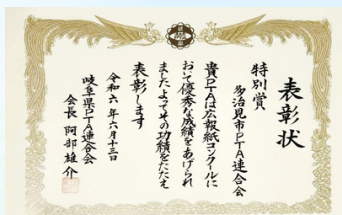


編集後記

～広報委員長～

～“特別賞”受賞～そんなニュースが飛び込んできたのは、6月に入ってからのこと。令和6年度岐阜県PTA連合会広報紙コンクール<郡市町村PTA連合会の部>で、多治見市PTA広報誌が特別賞を受賞し、6/13開催の第45回岐阜県PTA連合会定期大会にて表彰されました。

先輩役員さんや関係頂いた方々の想いが形になったものと思います。



今年度最初の広報誌、40号をお届けしました。広報委員会では年間2回の広報誌を発行しています。40号はWebでお届けしましたが、紙面でのお届けは次回の41号を予定しています。“いつもと同じ”、“去年と同じ”からの脱却、また時代に合わせた在り方を考えつつ、広報誌の役割を見失わないことを念頭に編集しました。

広報の役割は皆さんに多治見市PTA連合会の活動を知っていただくことです。そして活動を通して、人と人とのつながりが広がり、深まっていることを実感しています。

どうか最後まで読んで頂き、感想などお寄せ頂けたらと思います。

(広報委員長：水田)

